

<文化財の概要>

板絵著色杉戸絵 鶴図・芍薬図

1 員数 2枚4面

2 指定理由

本杉戸絵は、表現様式から17世紀狩野派の作として評価され、令和6年度に名古屋市指定文化財となった杉戸絵（芙蓉図・花卉図・菊図）と一連の作と考えられる。欠失箇所が見られるものの、障壁画は、一面一面の作品としての価値のみならず、建築に付随する絵画総体として史料の意味をもつ。杉戸絵は障壁画の中でも特に経年劣化を免れず保存が難しい絵画作品であるが、近年、日本絵画史研究において、選択された画題や建築内での配置、大規模な画事に際して狩野派内でどのような分担がなされたかなどを総合的に検討しようとする研究に進展があり（木下京子「フィラデルフィア美術館所蔵「花鳥人物図杉戸」と城郭御殿杉戸絵の画題に関する一考察」『待兼山論叢芸術篇』50号2016年、松本直子「二条城二の丸御殿の内部装飾の全体構想について一廊下杉戸絵を中心に一」『鹿島美術財団年報』36号2018年、石川県立歴史博物館編『御殿の美』2023年ほか）、伝来過程において、仮に建物の移築・再建等で杉戸絵に入れ替わりなどが生じていたとしても、作品が保存されていれば、当初の状況を復元的に考察できる可能性があることが示されている。本杉戸絵は、尾張徳川家に深く関わる寺院に伝来しており、尾張藩および尾張徳川家と狩野派の画事との関連を示す史料として、後世に残すべき作品である。

【参考画像】



鶴図



芍薬図

<文化財の概要>

享元絵巻

1 員数 1 巻

2 指定理由

本作品には、社寺や遊郭などが具体的に描き込まれており、徳川宗春治世の名古屋城下の様子を知る上で欠かせない絵画史料である。展覧会にも度々出陳され（名古屋市博物館「名古屋 400 年のあゆみ」展、2010 年・徳川美術館「徳川宗春」展、2014 年ほか）、他に類例のない重要作品として認識・評価されている。名古屋市博物館では、ウェブサイト上で場面を詳細に熟覧できる画像も公開されており、既に市民にも広く親しまれている。都市の景観を描くという点では、洛中洛外図の系譜、また、桜や紅葉などの四季のモチーフが描き込まれているという点では、四季の移ろいの中に場면을展開させるやまと絵の表現方法が継承されている例と見ることができ、絵画史上も意義のある作品である。名古屋の文化史と深く関わる作品として後世に伝えるべき文化財であり、指定にふさわしい。

【参考画像】



(全図)

<文化財の概要>

酒井家文書

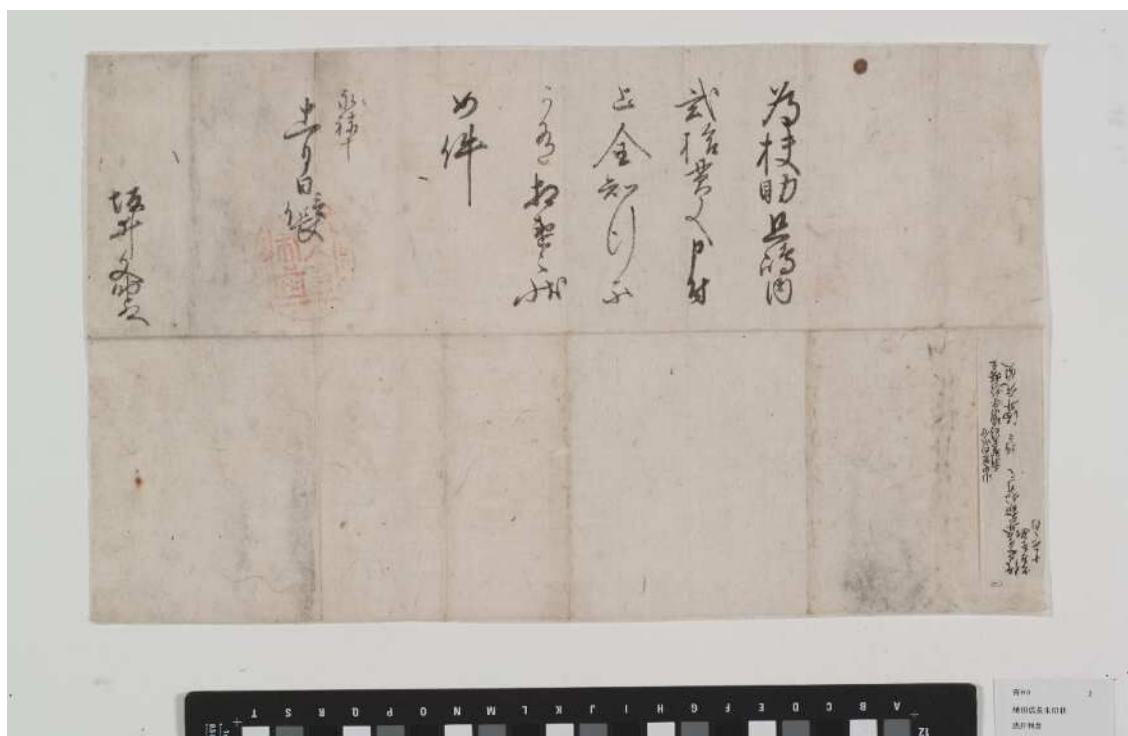
1 員数 58 点

2 指定理由

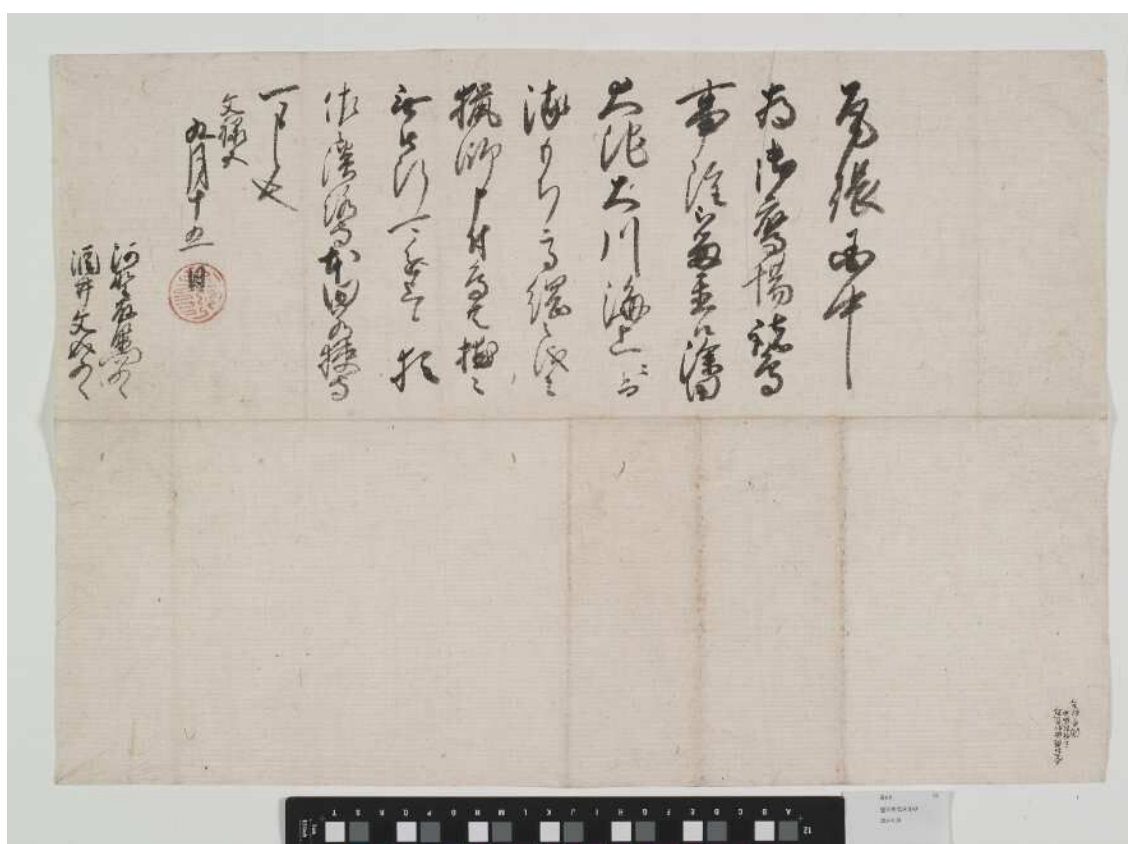
今回文化財指定を検討している酒井家文書 58 点は、初代利貞が拝領した文書を中心とした、室町時代後期から江戸時代中期 にわたる家伝文書である。すでに酒井利隆編集『坂井遺芳』(1937 年)、酒井利彦編集『新修坂井遺芳』(1999 年)などで、広く学界に紹介され、学術的な価値が認められてきた著名な史料群である。その大きな特徴は、歴代の尾張の支配者からの発給文書を まとまって伝えている点である。信長発給文書は 6 通、秀吉発給文書は 8 通あり、うち永禄 10 年(1567) 11 月付の信長朱印状は、「天下布武」印の最初の使用例のひとつである。また、街道や堤防の整備指示といった土木事業関連文書は他に類例のないもので、織豊政権の具体的なインフラ整備施策の実態を知ることができる。今後の厳密な科学的分析をまつべき部分はあるかもしれないが、これまでのところ、信長・秀吉・家康など、著名な歴史的人物により発給された文書原本を含むとみることに特段の異論はない。従来は、名古屋市域外在住者の所蔵史料であるという理由により、名古屋市指定文化財とはなっていなかったが、名古屋市に寄贈され、そうした行政的な支障が消滅した現段階において、指定の障害となるような学術的な理由は見出しがたい。名古屋市博物館編集『豊臣秀吉文書集 一～八』(吉川弘文館)の発刊など、名古屋市は織田・豊臣期の歴史史料の研究拠点としての役割を果たすことがいっそう強く期待されている。酒井家文書の名古屋市への寄贈および文化財指定は、名古屋市の学術的な存在感をさらに高めるであろう。

なお、名古屋市に寄贈された酒井家文書には、新旧の『坂井遺芳』には含まれない兼松源兵衛書状など、信長・秀吉・家康文書よりもさらに希少というべき近世初頭の実務的な内容をもつ文書が含まれている。これらの文書を正確に読解するには、ひきつづきみよし市酒井家に所蔵されている史料との照合が必要不可欠である。すなわち名古屋市所蔵分の酒井家文書は、みよし市酒井家所蔵分の酒井家文書の一部であるという事実を強く念頭において、行政的な枠組みを越えた連携を強めるならば、なお一層、酒井家文書の学術的・文化的な価値は増すであろう。

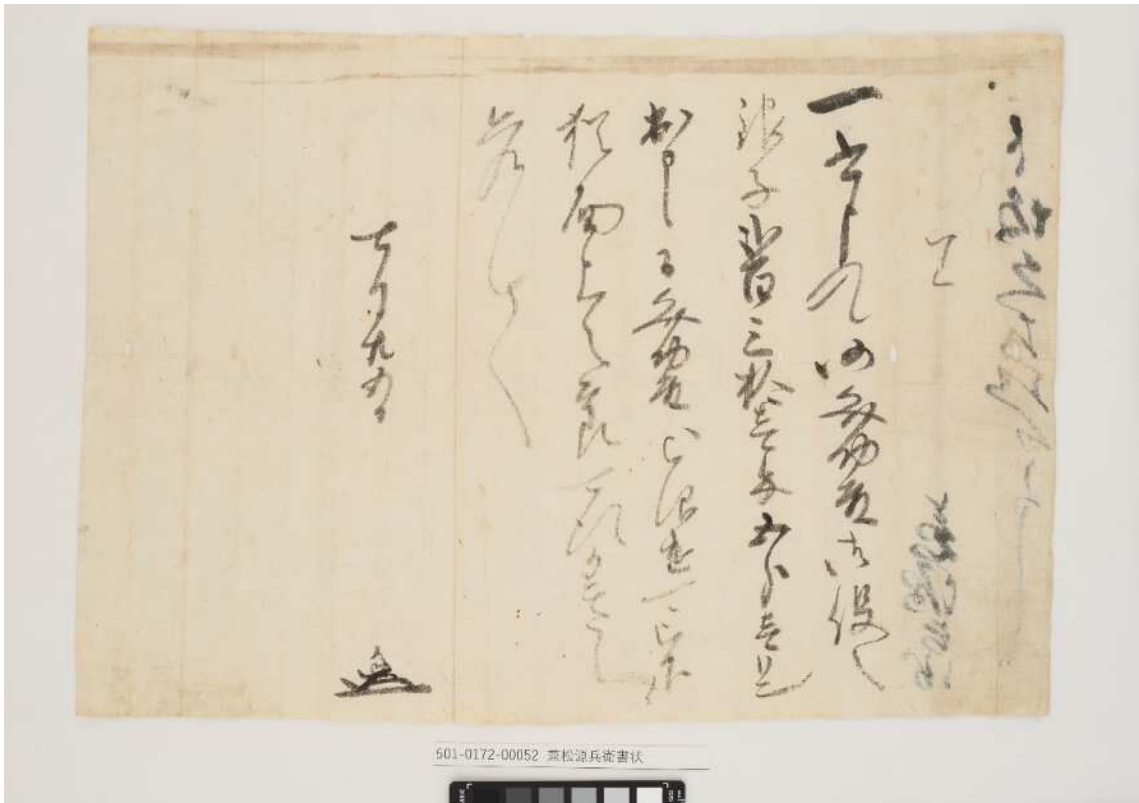
【参考画像】



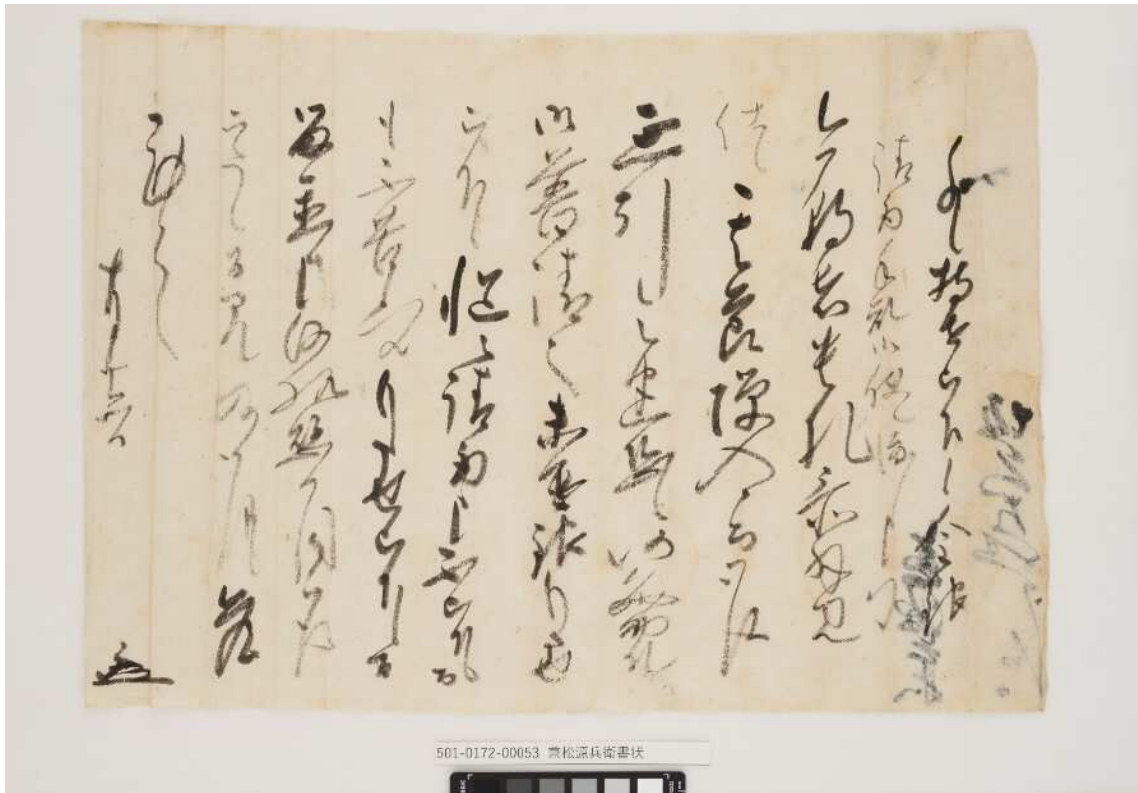
02 織田信長朱印状



22 豐臣秀吉朱印狀



52 兼松源兵衛書状



53 兼松源兵衛書状